

事業の必要性

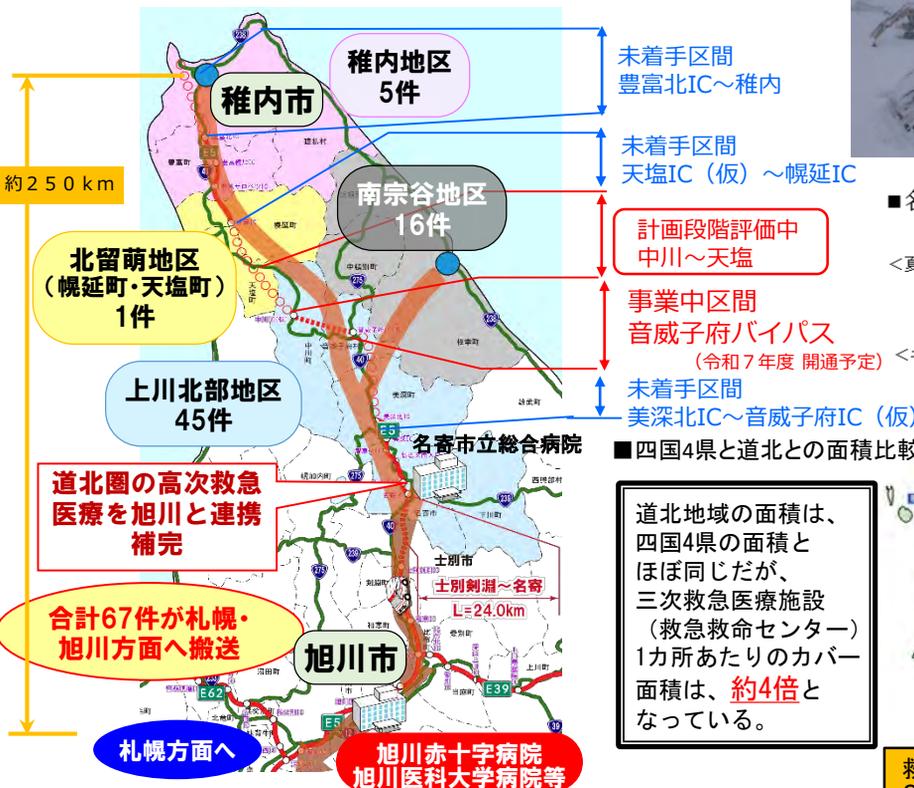
【道北地域の医療における現状】

稚内～旭川間は約250kmあり、東京～名古屋間と同程度の距離（片道約4時間）を救急搬送しています。

道北地域の医療圏においては、救命救急センターの数が限られており、中核となる三次救急医療機関は名寄市のみであり、名寄市への救急搬送件数は増加傾向にあります。そのため迅速性及び安定性の高い救急搬送ルート確保が課題となっています。

高規格道路を整備することによる時間短縮効果や事故等に対する安全性向上は必要不可欠です。

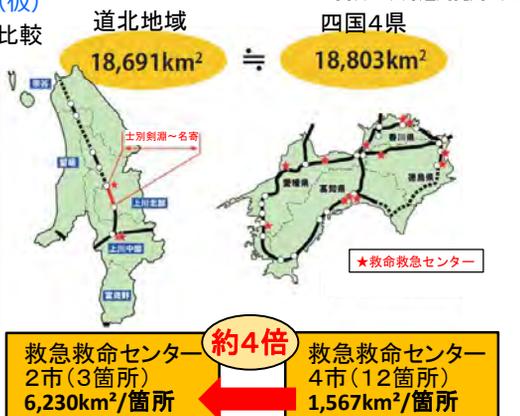
【上川北部・宗谷管内の管外救急搬送（R1）】



■ 名寄市～旭川赤十字病院間の所要時間の変化



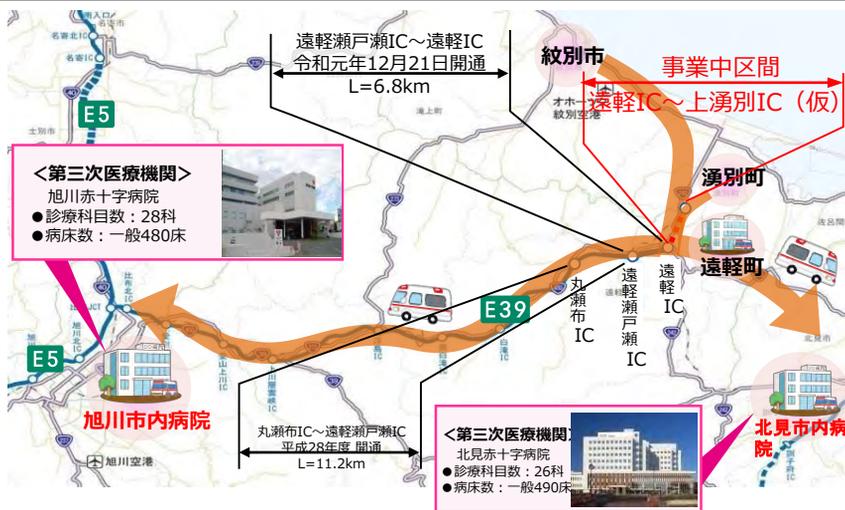
資料：北海道開発局 (H29)



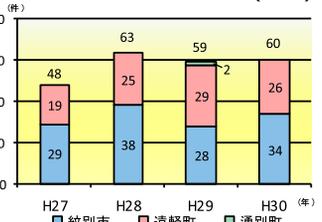
出展：R2 全国都道府県市町村別面積調、日本救急医学会資

【遠軽・紋別地域の医療における現状】

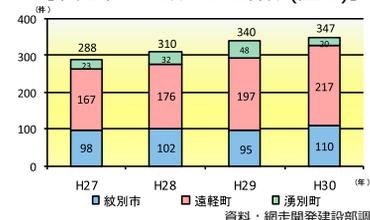
遠軽及び紋別地域から第三次医療機関である旭川赤十字病院や北見赤十字病院への救急搬送は重要な役割を担っており、旭川・紋別自動車道の延伸により搬送時の安全性向上や時間短縮が期待されます。



【旭川市への救急搬送件数(陸送)】



【北見市への救急搬送件数(陸送)】



資料：網走開発建設部調べ

冬期交通確保のための除排雪の充実や雪崩・地吹雪対策など冬期における安全で快適な道路交通の確保

主な要望内容

●冬期における安全で快適な道路交通の確保

・冬期交通確保のための除排雪の充実

【道内全域における除排雪の充実、雪寒機械の更新・増強（小樽市など）】

・鉄道駅周辺・中心市街地・通学路などを中心とした歩道除排雪の充実

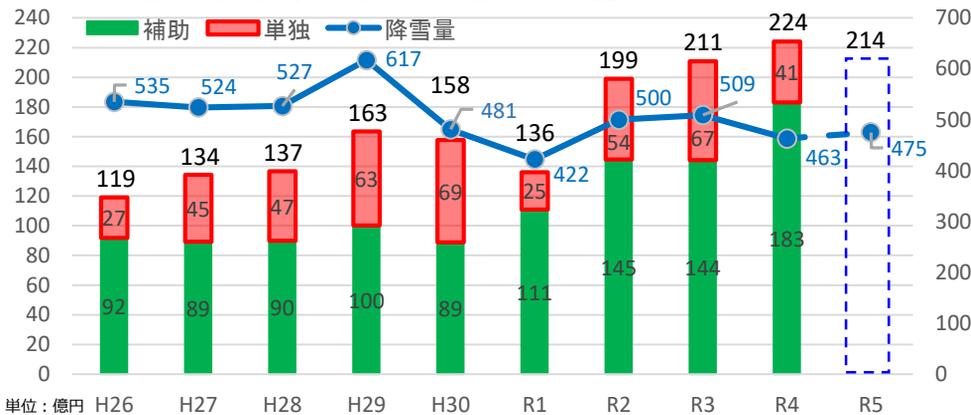
【道内全域】

・雪崩・地吹雪対策など、冬に強い道路施設等の整備

【国道44号根室防雪（根室市）、国道238号紋別防雪（湧別町・紋別市）、国道272号上春別防雪（別海町）、宇津沢木線（興部町）、夕張新得線（占冠町）など】

▼除雪予算の推移と予算の内訳（H26～R5）

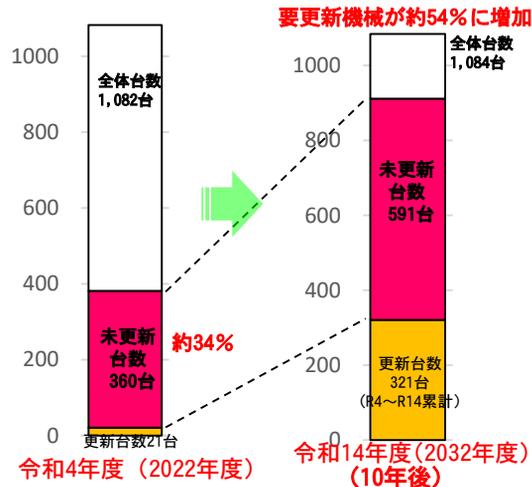
※R5の除雪費は単価の変動を考慮した過去5ヶ年の平均値から算出した見込額



▼公共工事労務単価は年々上昇



▼保有除雪機械の経過年数



▼除雪が滞った場合の道路利用者への影響

車両のすれ違いが困難

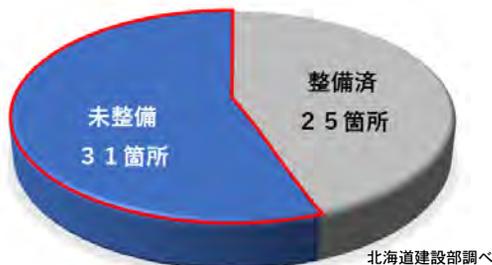


見通しの悪い横断歩道



【道路防災総点検(雪崩)】

雪崩予防柵の整備状況 (R5.3末時点) N=56 (H28防災点検)
※通常通行止め区間及び冬期通行止め区間を除く



【冬に強い道路施設等の整備】

▼京極倶知安線 (京極町)



◎自然豊かな水辺環境づくり

河川環境の再生や自然に配慮した河川・砂防施設の整備など自然豊かな水辺環境の整備・保全

主な要望内容

●自然豊かな水辺環境の整備・保全

- ・河道の連続性に配慮した砂防施設の整備 【セブ川（新冠町）、居辺川（上士幌町）など】
- ・ラムサール条約登録湿地等における自然再生事業の推進
【釧路湿原・ヌマオロ地区（標茶町）・幌呂地区（鶴居村）、久著呂川（標茶町、鶴居村）
夕張川（南幌町）、など】
- ・良好な水辺環境の保全・創出を推進
【漁川（恵庭市）、網走川（網走市）、十勝川（帯広市）
利根別川（岩見沢市）、松倉川（函館市）など】
- ・緑豊かな水辺環境に配慮した砂防施設の整備
【蒜沢川（函館市、七飯町）など】
- ・在来植生に配慮した急傾斜地崩壊防止施設の整備 【留萌南町4丁目2地区（留萌市）など】

【ラムサール条約登録湿地の保全】

▼釧路湿原への土砂流出防止対策（久著呂川）



【良好な水辺環境の創出】

▼漁川（恵庭市）



【河道の連続性に配慮した砂防施設の整備】

▼セブ川（新冠町）



【在来植生に配慮した急傾斜地崩壊防止施設】

▼留萌南町4丁目2地区（留萌市）



【緑豊かな水辺環境に配慮した遊砂地】

▼蒜沢川（函館市、七飯町）

